

平成 24 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長
里 見 治
(コード番号 6460 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員グループ代表室長 兼 グループコミュニケーション室長
新 谷 省 二
(電話番号 03-6215-9955)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 5 月 11 日に公表した業績予想（連結）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想について

平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 163,000	百万円 2,500	百万円 2,000	百万円 3,500	円 銭 14.22
今回修正予想 (B)	136,000	6,000	5,000	2,000	8.12
増減額 (B-A)	△27,000	3,500	3,000	△1,500	
増減率 (%)	△16.6	140.0	150.0	△42.9	
(ご参考) 前年同期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	152,602	15,181	14,716	3,980	15.79

修正の理由

遊技機事業において、一部のパチスロ遊技機の販売スケジュールを見直し、またパチンコ遊技機の販売市場が軟調に推移したことを受け、当第 2 四半期累計期間における販売台数は、パチスロ遊技機が約 108 千台（前回発表予想 179 千台）、パチンコ遊技機が約 57 千台（前回発表予想 103 千台）となる見込みです。一方、コンシューマ事業において、パッケージソフトの販売が好調となったほか、7 月よりサービスを開始したオンライン RPG「ファンタシースターオンライン 2」の登録 ID 数が 100 万 ID を突破し、課金収入も予想を上回る水準で推移しました。しかしながら、遊技機事業の収益を補うには至らず、連結売上高は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

営業利益、経常利益については前回発表予想を上回る見込みとなりました。これは遊技機事業において部材リユース等の原価改善施策を通じて利益率が向上したほか、コンシューマ事業においてパッケージ分野が好調な販売を記録したことによる増収効果や当初見込んでいた研究開発費・コンテンツ制作費、広告宣伝費の一部が下期計上となることが主な要因です。四半期純利益については、見積実効税率を見直したことにより税金費用が増加したことから、前回発表予想を下回る見込みです。

なお、平成 25 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、第 3 四半期以降に販売を予定する主力製品の販売動向を見極める必要があることから、見通しが明らかになり次第、速やかに公表いたします。

※本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上